

## 落合かつひろ 3 期目の「約束」達成状況

令和 4 年 10 月 30 日現在

◇ 83 項目すべてに着手しています。

◇ 4 段階評価 (S ~ C) で S と A が約 9 割となっています。

### ■全体評価■

全 83 項目のうち、評価基準【S】(想定を超える成果)および評価基準【A】(令和 4 年度中に実現)に該当する項目が、全体の約 9 割 (86.75%) にあたる 72 項目となりました。

### ■個別評価■

約束	項目数	評価基準			
		【S】	【A】	【B】	【C】
1 新たに取り組む主な施策	59	13	39	7	0
① 豊かな心と文化をはぐくむまちづくり	17	2	13	2	0
② 安心して暮らせる支え合いのまちづくり	15	4	9	2	0
③ 自然と人が共生するまちづくり	13	3	9	1	0
④ 活力とにぎわいのある街づくり	14	4	8	2	0
2 施策の実現に向けて	14	2	11	1	0
① 市民との協働	3	0	2	1	0
② 行財政改革の推進	6	2	4	0	0
③ 組織改革	3	0	3	0	0
④ シティプロモーション	2	0	2	0	0
3 夢の実現や課題の解決に向けて道筋をつける取り組み	10	0	7	3	0
① オリンピック・パラリンピックのレガシー活用	3	0	3	0	0
② まちの再生・災害のないまちづくり	4	0	1	3	0
③ 西部地域の資源の活用	3	0	3	0	0
計	83	15	57	11	0

### ■評価基準■

【S】 項目の想定を超える取組や成果が見込まれるもの。

【A】 項目履行のための取組が着手されていて、令和 4 年度中の実現に向けて進行中のもの、あるいはすでに実現されているもの。

【B】 項目履行のための取組が着手されているものの、令和 4 年度中の実現は不可能であるもの。

【C】 未着手のもの。

## 3 期目の「約束」達成状況（項目と評価）

### 1 新たに取り組む主な施策

#### ①豊かな心と文化をはぐくむまちづくり

教育		
1	エアコンは残る中学校普通教室を夏前に整備。トイレ洋式化も加速します。	A
2	中学校完全給食の早期実現に向け、調理場の整備に着手します。	A
3	相模小学校は 2022 年 4 月までの開校をめざします。	A
4	外国人英語指導者（AET）の学校訪問を拡充するなど、英語教育の充実に取り組めます。	A
5	中学校は県内の市で 1 位のパソコン配備率となっています（タブレット含む）。ICT（情報通信技術）を活用して、自主的・意欲的に取り組む力を伸ばしていきます。	S
	S 評価の理由 GIGA スクール構想を前倒しするとともに、教員向けに ICT 活用研修を実施（R1：5 回、R2：全小中学校各 2 回、R3：21 回、R4：30 回）して生徒の学力向上を図ったため。	
6	学力向上に向け、放課後自主学習教室の実施校を増やすなど、自主学習の環境づくりを進めます。	A
7	教育現場のマンパワーを充実します。	A

文化・スポーツ		
8	文化・芸術の拠点となる「平塚文化芸術ホール」は、2022 年春のオープンをめざします。	A
9	囲碁のまちづくりを進めます。2021 ねんりんピック神奈川大会で、平塚を囲碁の会場にします。	A
10	市民文化を創造・発信するため、文化振興計画を策定します。	A
11	地域の歴史や文化を生かしたまちづくりを進めます。	A
12	ベルマーレが主体となったサッカー専用スタジアム整備への取り組みを支援します。	B
	B 評価の理由 サッカー専用スタジアム整備への具体的な支援はないが、ベルマーレと意見交換を行っており、施設使用料減免などの支援を継続しているため。	

人権・市民総活躍社会		
13	児童虐待、高齢者虐待等に対応するため、ネットワークの強化、人材の育成等を図ります。	A
14	女性・高齢者・外国人・LGBT・障害者等一人ひとりが能力を発揮できる、全員参加型社会を実現するための取り組みを進めます。	A
15	多文化共生の一環として、市役所業務の多言語対応を拡充します。ハザードマップ、ごみ分別表、給食の献立など、幅広く対応します。 S 評価の理由 外国籍市民相談窓口におけるテレビ通訳システムやごみ分別表の多言語化が、目標言語数以上に進んでいるため。	S
16	市役所女性管理職の割合は 25%まで高めることをめざします。 B 評価の理由 女性管理職の割合は目標に達していないが、意識改革等に向けて多様な部署に配置するなどの取組を行っているため。	B
17	働き方改革を先導。イクボスの取り組みを広げます。	A

## ②安心して暮らせる支え合いのまちづくり

子育て支援		
1	湘南初、中学校 3 年生まで小児医療費助成の所得制限を撤廃します。 S 評価の理由 早期に所得制限を撤廃したため。	S
2	産前産後ヘルパー制度を創設。ネウボラ（子育て世代包括支援センター）の取り組みを拡充するほか、子どものほしいカップルを支援します。 S 評価の理由 産前・産後ヘルパー派遣事業の開始（R1.10）や、ネウボラに管理栄養士を専任配置（H31.4）、特定不妊治療費助成制度の拡充（R2.4）などを実施。産後ケア事業（ショートステイ・デイサービス）を開始（R5.1）するため。	S
3	2020 年 4 月までに保育園の待機児童をゼロにします。	A
4	病児・病後児保育の取り組みを進めます。	A
5	公立保育所は配慮が必要な子どもたちを支援する地域の拠点にします。	A
6	保育士の休職や離職を防ぐため、メンタルヘルス対策を進めます。	A

福祉		
7	高齢者、障がい者、子育て世帯等を、地域と連携し分野を超えて総合的に支援します。	A
8	スマイル 100 歳社会へ。認知症対策や未病対策、40 代からの健康長寿事業を強化します。 S 評価の理由 継続して事業を実施。認知症予防教室（12 回、174 人）や、フレイルチェック測定会（20 回、216 人）、未病改善教室（8 回、187 人）などを実施（R3）。また、「平塚市介護予防チャンネル」を動画サイトに開設し 1 万回以上の視聴回数や、フレイル対策のため関係機関と連携しているため。	S

9	高齢者元気応援ポイント事業は、活動の場を子育て施設を含めて拡充します。	A
10	UR高村団地を、福祉・医療・介護・交通等、地域共生社会のモデルとして再生します。 B 評価の理由 UR高村団地の再生は完了していないが、医療街区に医療療養病床や内科の外来診察、福祉街区に地域密着型介護老人福祉施設や地域交流スペースを誘致するとともに、北街区は整備事業者の公募に向けた協議を進めているため。	B
11	障がい者雇用の場である「夢のタネ」の取り組みを学校などにも広がります。	A

安心・安全		
12	自助、共助、公助の取り組みを進めるため、「マイタイムライン」の普及に取り組みます。	A
13	ビーチパークと龍城ヶ丘海岸に津波避難施設を整備し、県内一安全な浜辺をめざします。 B 評価の理由 ビーチパークの津波避難施設は完成しているが、龍城ヶ丘海岸の整備は令和7年春頃の完成を予定するため。	B
14	市民の命を守るため、市民病院の救命救急や小児周産期部門を確実に支えます。 S 評価の理由 救急搬送が必要な患者を積極的に受け入れる「断らない救急」として応需率98%を達成するとともに、平塚・中郡地域で産科・小児科の二次救急を担う唯一の病院として、二次救急当番実施率100%を堅持しているため。	S
15	「体感治安」を向上させるため、市民協働で新たな施策を立案し、取り組みを進めます。	A

### ③自然と人が共生するまちづくり

環境		
1	SDGs 実現に向け、波力発電、エネルギー地産地消、プラごみゼロに取り組みます。	A
2	可燃ごみ戸別収集システムをモデル地区に導入。ごみを出しやすくします。 S 評価の理由 モデル地区で導入しただけでなく、本格実施しているため。	S
3	生物多様性の保全を市民活動団体との協働で進めます。 S 評価の理由 平塚市自然環境評価書をまとめ、アクションプランを策定するため。	S
4	県動物保護センターと連携し、人と動物が共生するまちづくりを進めます。	A
5	2020年ツインシティ大神地区まち開き。新エネ（EV、水素）活用拠点の整備や大型倉庫の屋根での太陽光・市民発電所を働きかけます。	A

交通		
6	地域公共交通網を再構築し、交通空白地域や交通不便地域対策に取り組むとともに、「住民主体の地域内移動手段」に対する補助制度を創設します。	A
7	ツインシティ大神地区と平塚駅とを結ぶ南北交通に連節バスを導入するほか、平塚駅と東海大学前駅とを結ぶ新たなバス路線を設けます。	A
8	平塚駅北口に下りエスカレーターを設置。バリアフリーのまちづくりを進めます。 S 評価の理由 始発から終電までラスカ内エレベーターが利用可能 (R4.4) に。平塚駅北口に下りエスカレーター設置 (R4.7)。平塚市バリアフリー基本構想改定 (R4.3) し、各事業者における事業計画を策定 (R4.6)、平塚市バリアフリー推進協議会において進捗を管理する体制を整備 (R4.6) しているため。	S
9	自転車安全対策を進め、通行ゾーン整備計画を完成させます。	A
10	平塚駅南口に駐輪場を増設し、シェアサイクルを導入します。	A

みどり		
11	龍城ヶ丘プール跡地と東西の公園を再整備。養浜や散歩道整備も進め、市民が親しみ誇れる海岸にします。 B 評価の理由 龍城ヶ丘海岸の整備は、市民の声や関係機関との協議を踏まえ、見直し計画を取りまとめたが、完成は令和7年春頃を予定するため。	B
12	総合公園のトイレ改築・改修、カフェ設置などを進め、魅力アップを図ります。	A
13	四季折々の花の名所づくり。湘南平、馬入・水辺の楽校などで推進します。	A

#### ④活力とにぎわいのある街づくり

産業振興		
1	がんばる事業者を応援。創業や事業承継の支援、農業・漁業の6次産業化を広げます。	A
2	産業間連携を推進。市内金融機関等と連携したセミナーの開催、マッチング機会の創出、専門家派遣などを展開します。 S 評価の理由 産業間連携の推進により、これまでに20件以上の新事業・新商品が誕生しているため。	S
3	次世代の農業・漁業における新たな担い手の確保と人材の育成を進めます。 S 評価の理由 家賃補助やスマート農業導入支援を実施しているため。	S
4	新港背後地での多目的広場やトイレの整備など、海の恵みを楽しむことができる環境づくりを進め、水産業の強化を図ります。	A

観光		
5	本市の産業等の特徴を活かした体験型観光プログラムを開発。新たな着地型観光を推進します。	A
6	2020年「第70回湘南ひらつか七夕まつり」を市民協働で盛大に開催します。 S 評価の理由 感染防止対策を徹底した、安心・安全な「市制施行90周年記念第70回湘南ひらつか七夕まつり」を2022年7月8日から10日まで開催したため。	S
7	観光の拠点として、湘南平の再整備に取り組みます。 B 評価の理由 湘南平の再整備は進んでいないが、樹木整理・剪定や、花の植栽、園路補修を実施するとともに、マーケットサウンディングを実施(R1)しているため。	B
8	近隣市町と連携して、広域的な魅力づくり・魅力の発信を進めます。	A

雇用		
9	労働生産性の向上を支援するとともに、若年層や女性、高齢者など潜在的労働力の活用を促進し、働く場を広げます。 S 評価の理由 中小企業等のデジタル化を支援して労働生産性の向上を図るとともに、就職が困難な市民(氷河期世代、障がい者、ひとり親等)を正規雇用した事業者に対して経費の一部を補助し、正規雇用を促進したため。	S
10	若年層の正規雇用を促進し、安心して結婚・出産できる環境づくりを進めます。	A
11	テレワークを活用した保育つき共用オフィスなど、子育てと仕事の両立を応援します。 B 評価の理由 保育付き共用オフィスは設置されていないが、テレワーク導入支援補助の実績はあるため。	B
12	市内に在住または転居して就職する学生の奨学金返還を補助します。	A

中心市街地の活性化		
13	中心市街地のにぎわいづくりを推進します。事業者や自治会等との意見交換を進め、活性化に向けた事業を進めます。	A
14	2022年春、平塚文化芸術ホール完成。中心市街地や平塚駅西口を活性化して、にぎわいを創出します。	A

## 2 施策の実現に向けて

市民との協働		
1	協働のまちづくり基金を活用して、自治会をはじめとする地域活動や市民活動などを支えます。	A
2	PFI・PPP など民間活力活用事業に市民意見を反映させる「平塚方式」など、新しい対話の形を全国に先駆けて広げます。 B 評価の理由 「PPP/PFI 事業における市民対話マニュアル」を策定し、湘南海岸公園龍城ヶ丘ゾーン整備・管理運営事業では、様々な手法を用いて市民対話を行っているため。	B
3	「ほっとミーティング」を進化させ、市民のみなさんと市長との新たな対話集会を始めます。中学校完全給食は生徒・保護者の声を踏まえて進めます。	A

行財政改革の推進		
1	県内トップクラスの健全な財政運営を堅持します。	A
2	「公共施設等総合管理計画」を着実に推進します。	A
3	窓口業務を民間委託し、窓口コンシェルジュ（案内係）導入などサービス向上に取り組めます。 S 評価の理由 窓口満足度調査の目標 90%以上を大きく上回っているため。	S
4	駅ビル・ラスカ内に市民窓口センターを移設。選挙の期日前投票所にも対応します。	A
5	パソコンのタブレット化や AI（人工知能）・RPA（事務作業をロボットで自動化する取り組み）の導入などの業務改善を進め、創出した時間を市民サービス向上に活用します。 S 評価の理由 パソコンのタブレット化や、RPA の導入を進めるとともに、市ホームページにチャットボットを導入して市民サービスを向上させたため。	S
6	公共施設などの Wi-Fi を民間の力を活用して拡充します。	A

組織改革		
1	戦略的な組織づくりを推進。災害対策などで、市長がリーダーシップをさらに発揮できる組織にします。	A
2	中学校完全給食実現のため、推進体制を強化し取り組みを進めます。	A
3	まちづくり財団、生きがい事業団、市社会福祉協議会の経営改革（組織・業務の見直し、採算性の重視など）を促します。	A

シティプロモーション		
1	若い世代や子育て世代をターゲットにして都市イメージの向上・魅力の発信に取り組むとともに、そのニーズを調査分析して各部署の施策に反映させます。	A
2	SNS やウェブ広告、デジタルサイネージ等を活用し、情報発信を強化します。	A

### 3 夢の実現や課題の解決に向けて道筋をつける取り組み

オリンピック・パラリンピックのレガシー活用		
1	リトアニアとの交流のネクストステージづくり。	A
2	英語教育先進のまちづくり。	A
3	パラスポーツの拠点をめざすまちづくり。	A

まちの再生・災害のないまちづくり		
1	文化公園施設（中央図書館、博物館など）の将来構想づくり。 B 評価の理由 将来構想はできていないが、基本的な考え方をまとめたため。	B
2	平塚駅西口再整備の構想づくり。 B 評価の理由 構想は策定されていないが、再整備に向け地権者とまちづくりの方向性について意見交換を実施しているため。	B
3	大浜地区を中心に、海と漁業をテーマとした新港周辺のまちづくりに向けた構想づくり。 B 評価の理由 構想は策定されていないが、新港周辺のまちづくりに向けた構想づくりについて庁内検討を実施するとともに、しおかぜ広場が整備されているため。	B
4	これまでの最大雨量である 70mm/h を超えても浸水しないまちづくりに向けた下水道の将来構想づくり。	A

西部地域の資源の活用		
1	神奈川大学湘南ひらつかキャンパスから 2 学部が移転した後の、湘南ひらつかキャンパスの新たな展開を求める働きかけを強めます。	A
2	東海大学前駅と平塚駅とを結ぶバス路線新設を契機とした、東海大学と中心市街地との骨太のパイプづくり。	A
3	ゆるぎ地区の農と里山に着目し、地域・大学・企業と連携した県内初のクラインガルテン・週末就農の構想づくり。	A